

会 議 議 事 録

会 議 名	令和4年度 第2回 学校関係者評価委員会	専門学校 東京工科自動車大学校品川校	
開催日時	2022年11月11日(金) 17時30分～19時10分		
会 場	専門学校東京工科自動車大学校品川校 33教室		
参 加 者	委員 (敬称略)	7名	(出席:6名) 稲垣正義、酒井崇、西岡竜一郎、木下昌明、大槻明子、間島和明 (欠席:1名)田中絵里
	事務局	3名	佐藤康夫、澁谷健、市川隆由
会 議 録	<p>1. 校長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催に先立ち校長の佐藤より挨拶があった。 <p>2. 委員会成立の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より委員会メンバーの出欠(7名中6名出席)確認がなされ、本委員会の成立が承認された。なお今回より兼松様に代わり田中様が委員として就任された旨、紹介があった。 <p>3. 学校関係者評価委員および事務局メンバーの確認と議長選出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本委員会の成立を受け稲垣委員が議長、酒井委員が書記として選任された。 		
審議事項	<p>4. 議事</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第1号議案:前回議事録の確認 事務局(澁谷)より前回議事について配布資料に基づき説明し、各委員より承認を受けた。 ●第2号議案:公開情報の更新について 事務局(澁谷)より職業実践専門課程の公開状況について説明し、各委員より承認を受けた。 ●第3号議案:2022年度取り組みに関する進捗状況 事務局(佐藤)より配布資料に基づき以下①～⑤に関する実績報告がなされ、各委員より承認を受けた。 <p>①就職状況 例年8月末100%内定を目標とし、本年は自動車整備科の1名を除き全員が内定している。</p> <p>②資格取得 国家試験に向けて1級プロジェクトとして3期より対策に取り組んでいる。</p> <p>③在籍状況 昨年4.9%、現時点で5名(4.2%)となっており最終的に5%近辺での着地となる見込みで推移している。</p>		

④募集状況

- ・1級科:現時点で18名(昨年7名に対し倍増)
- ・整備科:現状10名(昨年20名の半減)、留学生のOC参加者が限られ厳しい状況となっている。留学生の入国状況はコロナ前に戻っているが、回復に繋がるのは来年以降となる。
- ・HD科:現状23名(昨年実績22名)、定員25名を充足するものと見込んでいる。

⑤その他

配布資料に基づき2022年度教育日程の進捗状況について説明。

【委員からの質問】

- ・グローバル企業3社の具体名は？

⇒海外にも事業拠点を持つ企業で、将来グローバルな活躍をする可能性が高い企業を指す。いすゞ車体およびいすゞ首都圏等に3名内定している。

- ・休学者の理由は？

⇒メンタル面からの体調不良

- ・OB委員より就社後にメンタル面による退社が多くなっている。在学中からメンタルケアにあたっていただきたい。

⇒体制整備について検討したい。

- ・授業中寝てしまう学生への指導はどのようになされているか？

⇒段階を経て担任、科長、副校長、校長との面談を実施、状況によって保護者を交えての面談を実施している。

- ・自動車整備科の募集状況への対策は？

⇒2輪好きへも間口を広げられるよう国産バイクを導入し対策を講じている。整備科に対しての直接的な効果はまだ表れていないが、出願者数全体には好影響があったと考える。

- ・留学生へのアプローチは？ベトナム人が多い要因は？同国と特別な関係があるのか？

⇒日本への入国者でベトナム人の割合が増加していることに起因している。本校とベトナムとで特別な関係はない。留学生減少に対しては、都心部だけではなく、地方の日本語学校へもアプローチし取り組んでいる。

5. 意見交換

- ・1級科の募集状況について、整備科よりも1級科の方が魅力的と思われている現象と思われる。好ましいことと思っている。

- ・近年自社に於いては就社後の退職者が増加している。会社に対する入社前の認識と入社後の現実とでミスマッチが生じているものと思われる。

また、若年層でメンタルケアを必要とする人が増加している状況に大変さを感じている。

対策として卒業生と内定者との懇談等入社前の対策を通じて改善に繋げていけないだろうか。

会社説明会への参加者の姿勢にも疑問を感じざるを得ない場面がある。

⇒卒業生との交流等については企業側の採用部署の意向も踏まえ検討したい。

- ・国家試験の前倒し実施に対する対応は？

⇒実施に向けて検証が求められておりJAMCAがアンケートを実施している。それらを踏まえ

国交省との検討を行うこととなっている。

- ・自身が学生の頃に比べ今の学生は時間的にゆとりがあるように感じられるが？
⇒国交省が指定するカリキュラム時間数が当時(2100h)に比べ現在は(1800h)へ減少していることに起因している。 ※2400hと回答したが正確には 2100h に訂正する。
- ・自動車整備科の募集状況、在籍状況からも自動車整備科への手厚いケアが必要と感じる。

<事務局連絡>

- ・今後の予定として、3月3日以降に委員長である稲垣様に自己評価報告書をご確認いただき、その後、3月末までに各委員による評価を受ける予定である。
- ・プロジェクトセミナー発表会について
12/2 学内選抜、12/12 杉並公会堂で各校代表グループによる発表会を実施する。
本年は教育課程編成委員会、学校関係者委員会の方々へも案内を送る予定である。

以上の報告および連絡事項を以て委員会を終了した。

以上

会議風景

